

# 公益財団法人 かながわ国際交流財団

名称	公益財団法人 かながわ国際交流財団	
英文名	Kanagawa International Foundation	
代表者	理事長 高橋 忠生	
所在地・連絡先	〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8第1安田ビル4階 TEL:045-620-0011 FAX:045-620-0025 URL: http://www.kifjp.org E-mail: tabunka@kifjp.org	
設立年月／地域国際化協会認定年月	1977(昭和52)年2月15日設立／1990(平成2)年認定	
基本財産／年間予算額	781,908千円／195,909千円	
会員制度	個人会員65人(年会費3,000円、学生会員1,500円)、団体会員11団体(年会費10,000円から)	
役員数／職員数	10名(常勤1名)、16名	
国際交流施設の概要	多文化共生・NGO協働推進センター	面積171.42㎡
	湘南国際村学術研究センター	面積416㎡
民間国際交流団体とのネットワーク		
定期刊行物	年報、会員便り	
主な出版物	<p>「外国人住民への子育て支援に関わる調査報告書」(2016.3)、「外国人ママが日本で安心して出産するために」(2016.3)、「外国人保護者・児童のための小学校で楽しく、安全に学ぶための10のポイント」(2015.10)、「ミュージアムが社会を変える～文化による新しいコミュニティ創り～」(2015.1)、「災害のときの便利ノート」(2015.2)、「外国人保護者・生徒のための中学校生活を充実させる10のポイント」(2015.3)、「あるあるマンガでよむ 外国につながる生徒の高校進学サポートガイド こまったときの10のヒント」(2014.3)、「外国人住民サポートアイデア集」(2014.3)、「外国人保護者のための予防接種のしおり」(2014.3)、「外国人住民向け防災啓発ポスター&amp;チラシ「災害への備えは大丈夫？」」(2014.3)、「みんなで育てる多文化共生」(2012.2)、「外国人コミュニティ調査報告書」(2012.2)、「介護の仕事」(2012.9)、「介護現場における外国人の就業の現状等に関する調査報告書」(2012.9)、「外国人コミュニティ調査報告書 その2」(2013.2)、「地域に生きるミュージアム～100人で語るミュージアムの未来Ⅱ～」(2013.2)、「やさしい日本語でコミュニケーション」(2013.3)、「かながわ多言語生活ガイド」(2013.3)、「外国につながる子どもの未来を支えるために～5年後、10年後を見据えて成長を見守るヒント～」(2013.3)、「外国につながる子どもがホッとする授業づくり～教科書を活用したアイデア集」(2012.3)、「日本生まれの外国につながる子どもたち」(2011.3)、「100人で語る美術館の未来」(2011.2)、「かながわの多文化ソーシャルワークの推進に向けて」(2011.2)「外国につながりをもつ子どもの教育に関する調査プロジェクト」(2010. 6)「かながわの日本語学習支援」(2009.3)、「新貿易ゲーム改訂版」(2006.7)、「多言語生活情報の提供・流通その3」(2008.3)</p>	
平成28年度 主要事業	1. 外国人住民への生活情報の提供と安全サポート	外国人住民が、安全かつ安心して生活し、地域社会へ参画できるよう、多言語による生活情報や必要な行政情報等を提供し、必要とする外国人住民の手に届くよう、情報の流通促進を図るとともに、災害時の適切な情報提供等に備えるための事業を実施する。(2,129千円)
	2. 外国につながる子ども・家族への支援	県・市町村、NGO/NPO、県内外の専門家等と連携しながら、県内の外国につながる子どもたちの生活・学習環境を整備する事業等を行う。(8,477千円)
	3. 留学生・元留学生への支援	元留学生、企業、大学等へのインタビュー形式の個別ヒアリング。(228千円)
	4. NGO/NPOへのサポート	NGO/NPO活動を推進することを目的として、県補助金、個人、企業、団体からの寄付金を原資として設置された「かながわ民際協力基金」の運用益を活用し、資金助成を行う。(7,400千円)

## 公益財団法人 かながわ国際交流財団

5. 外国人コミュニティと地域社会の接点づくり	ポータルサイト「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」の運営、「外国人コミュニティとの意見交換会」の開催(235千円)
6. 県民活動支援	財団の活動や事業成果等を広く県民に発信するとともに、多文化共生の地域社会づくり、NGO/NPO等の県民活動、学術・文化交流等に関する県・市町村、NGO/NPO、関係団体の情報を収集し発信する。(3,420千円)
7. 高校国際教育支援	高校から国際教育分野での授業・講演会・ワークショップ等のプログラムの内容について相談を受け、高校のニーズ・実情に合わせた授業内容を講師と相談し、当日の実施支援をする。その他青少年国際セミナー、インターナショナルカフェ。(2,632千円)
8. 大学間連携グローバル人材育成	環境、開発、貧困・格差などの地球的規模の課題の解決に必要な国際的な視野を持つとともに、急速に「多文化」化が進む地域社会の諸課題の解決に意欲をもって取り組む「多文化理解マインド」を持った人材を育成する。(8,004千円)
9. 学術・文化交流の促進(学術交流によるグローバル化の強化、学術交流によるローカリゼーションの強化)	21世紀かながわ円卓会議やミュージアムサミット等の諸事業を通じて、学術的な知の蓄積と地域実践とを結び、中間支援組織として地域社会の課題解決に寄与する。(8,175千円)